

PRESS RELEASE

報道関係各位

2026年4月15日

麻布大学と山脇学園中学校・高等学校が
連携事業に関する協定を締結

麻布大学

麻布大学（学長：村上賢、本部：神奈川県相模原市）は、山脇学園中学校・高等学校（校長：西川史子、本部：東京都港区）と連携事業に関する協定を締結しました。また、協定書の締結式を両校の関係者の出席により、2026年3月18日（水）に実施しました。



麻布大学は、山脇学園中学校・高等学校とともに、それぞれの教育内容の充実、学生及び生徒の資質向上を図り、教育の質をより高めるための高大連携協力を行います。

この協力関係により、大学教員による特別講義の実施や、中高生が大学レベルの高度な研究に挑戦できる専門的な学習プログラムへの参加が可能となります。特に、文部科学省から最高評価を受けた「麻布出る杭」などの先進的な取り組みを通じて、生徒は「動物」「獣医」「環境」「食品」との共生について深い知見を得ることが期待されます。また、早期履修による単位認

定や特別な入試制度の整備も視野に入れており、将来を見据えた主体的な学びが支援されます。

サイエンス教育の充実として、山脇学園中学校・高等学校はこれまでも麻布大学からサイエンス教育に関するアドバイスを受けており、実験や実習を通じて、仮説・検証を繰り返す科学的な手法を学ぶことは、自分たちの予測と結果の違いから新たな発見（気づき）を得るための最適な場となります。

これらの連携を通じて、生徒が自ら学び、未来を切り拓く力を育てるための「気づき」の場を構築していくことが連携の大きな柱となり、この連携を推進する所存です。



《参考情報》

●麻布出る杭を引き出す教育プログラムについて

「麻布出る杭プログラム」は、文部科学省の知識集約型社会を支える人材育成事業「出る杭を引き出す教育プログラム」で国内で唯一採択された「動物共生科学ジェネラリスト育成プログラム」の略称です。麻布大学の強みである「動物共生科学」を主軸に、動物・食品・環境の各分野で研究プロジェクトを行っており、1年次の後期から、所属学科に関係なく興味を持った研究プロジェクトに参加できます。2026年度に行われた文部科学省による最終評価では、このプログラムへの参加学生が大きく成長している点が高く評価され、最高評価となる「S」を獲得しました。

麻布出る杭プログラム https://www.azabu-u.ac.jp/about/program/derukui/post_24.html

●山脇学園中学校・高等学校ホームページ

<https://www.yamawaki.ed.jp/>

●麻布大学について

麻布大学は、2025年に学園創立135周年を迎えました。動物学分野の研究に重点を置く私立大学として、トップクラスの実績を基盤に新たな人材育成に積極的に取り組んでおり、獣医学部（獣医学科、獣医保健看護学科、動物応用科学科）と生命・環境科学部（臨床検査技術学科、食品生命科学科、環境科学科）の2学部6学科と大学院（獣医学研究科、環境保健学研究科）の教育体制の下、ヒトと動物のよりよき関係をつなぐ専門性の高い人材育成を進めています。

麻布大学の概要：<https://www.azabu-u.ac.jp/about/>

●本件のお問い合わせ先 <広報部門の連絡先>

- ・麻布大学 入試広報・渉外課 担当：磯野
- ・住所：〒252-5201 神奈川県相模原市中央区淵野辺1丁目17-71
- ・メール：koho@azabu-u.ac.jp
- ・HP：<https://www.azabu-u.ac.jp/>